

- 1 **目的** 選手育成の原理原則であるM-T-Mメソッドを主眼とした、比類なき本交流戦も、10回目の開催となる。これまで県境を越えた選手、指導者同士の交流は、有意義なものであった。
日本サッカー界の未来を担う、この世代の選手達が、よりサッカー理解を深め、クリエイティブで逞しい選手へ成長するための成功体験を積めるよう、正にM-T-Mを実践指導する3日間とする。
また本年は、これまでの取り組みを総括し、その功績と課題を共有することで、今後の10年を展望し、さらなる本交流戦の発展を期す。
- 2 **主催** 一般社団法人関東サッカー協会
- 3 **共催** 公益社団法人栃木県サッカー協会
- 4 **主管** 一般社団法人関東サッカー協会第4種委員会 公益社団法人栃木県サッカー協会第4種委員会
- 5 **後援** 真岡市教育委員会 真岡市サッカー協会
- 6 **協賛** 株式会社モルテン
- 7 **期日** 平成29年7月28日(金)～30日(日)/3日間
- 8 **会場** 真岡市鬼怒自然公園サッカー場 〒321-4365 栃木県真岡市柳林1140-2
- 9 **参加チーム** 関東各都県を中心とした男女U-12トレーニングセンターで参加を希望するチーム
- 10 **資格** (1) 2017年度各都県トレーニングセンター・U-12に選出された選手で構成するチームであること。
(2) 選手は全員スポーツ安全保険等に加入していること。
(3) ユニフォームは正・副2種類用意すること。但し事情によってはビブス対応でも可とする。
(4) 1チームのエントリー人数の制限は設けない。**盛夏時を考慮した人数を登録すること。**
(5) チームは必ず各トレセンスタッフ(有資格者)が引率すること。
- 11 **審判** 各チームに1名以上の審判を帯同のこと。原則JFA3級審判資格以上とします。
審判服を着用。担当は主催者が割振りを行います。
ユース審判の帯同を推奨します。本大会は、ユース審判にとっても貴重な実践、経験となります。これもまた第4種世代の環境整備の一環です。
- 12 **競技方法** (1) 8人制/審判1人制(所属当該チーム担当) (5) ゲームスケジュール
(2) 試合時間 30分(15分-5分-15分) 参加チーム総当りを前提とする。
但し、気候に応じて短縮する スケジュール上、地区外同士の対戦を優先する。
(3) 十分な給水タイムの確保 (6) 雷の対応について万全を期す。
(4) 選手は自由な交代 雷鳴が発生した場合には、即、中断/中止とする。
- 熱中症対策** 【栃木県少年サッカー連盟熱中症ガイドライン】に準拠して運営する。
予め《全チーム一斉クーリングブレイク》をゲームスケジュールに組み込む。
各試合の飲水タイムごとに総入替えできる程度の人数派遣を各チームに要請する。
- ※ 円滑なゲーム進行にご協力願います。試合数を1試合でも多く組めるよう、試合間のインターバルが短くなっています。ピッチの移動等にご配慮頂き、定刻キックオフができますよう、ご協力願います。
- 13 **情報交換会** 期間中、試合会場にて、参加チームの指導者、審判の方々と栃木県関係者との情報交換会を行います。各々の地区の現状、トレセンのあり方等県境を越えた意見交換の場としたいと思います。